

令和6年度 第3回 国道169号 下北山村上池原地区 防災対策検討委員会

日時：令和6年6月26日（水）18：00～

場所：奈良国道事務所4階第一会議室（対面、オンライン会議併用）

議 事 次 第

1. 開会

2. 議事
 - （1）地質調査結果
 - （2）本格復旧案の検討
 - （3）質疑・意見交換

3. その他

配付資料

資料1：地質調査結果・本格復旧案の検討

国道 1 6 9 号下北山村 災害復旧権限代行

①地質調査結果

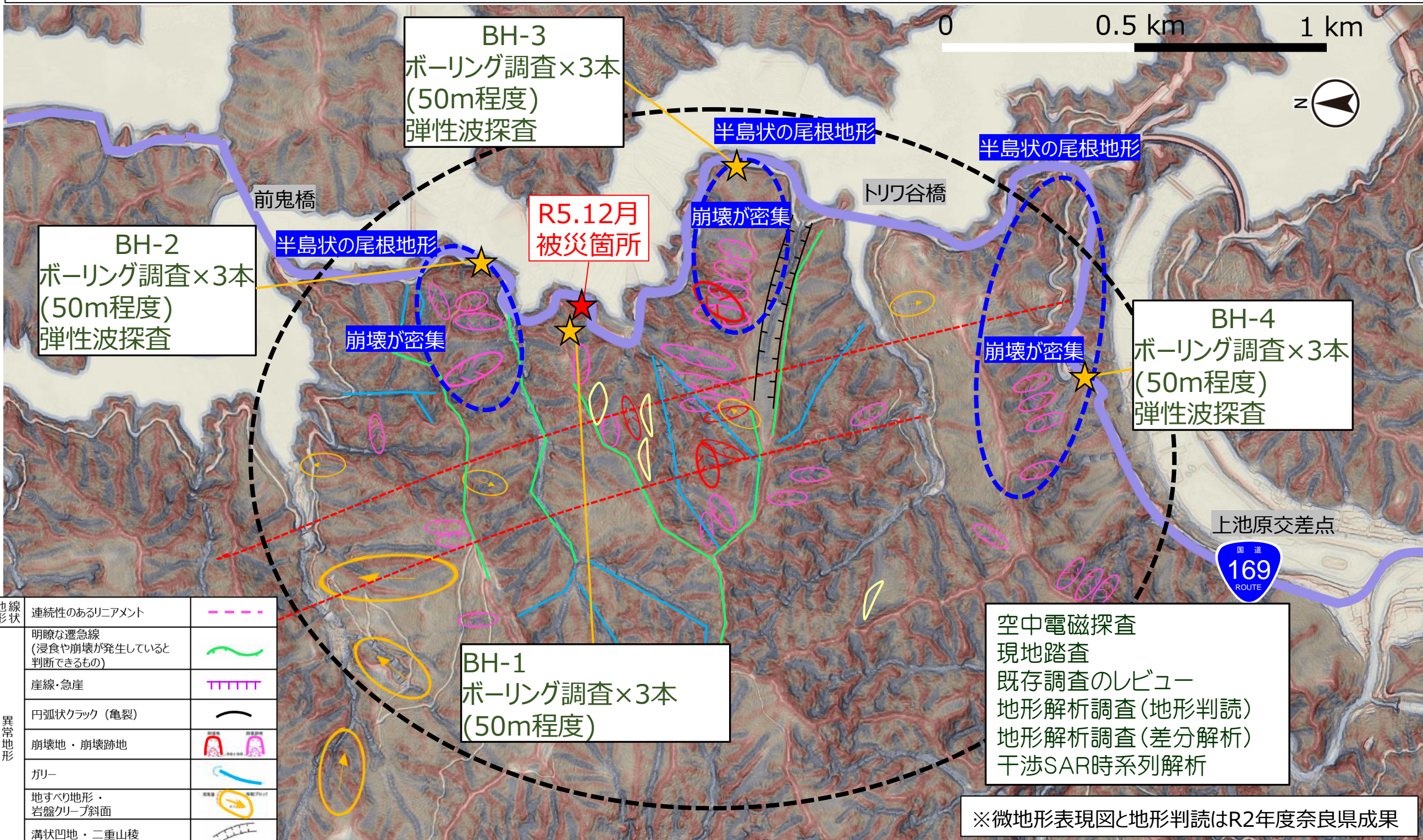
②本格復旧案の検討

①地質調查結果

被災箇所および被災箇所周辺の調査箇所

■ 調査箇所及び調査内容

ボーリング	12本	現地踏査	1箇所	地形解析調査(差分解析)	1箇所
弾性波探査	3箇所	既存調査のレビュー	1箇所	干渉SAR時系列解析	1箇所
空中電磁探査	1箇所	地形解析調査(地形判読)	1箇所		



地線形状	連続性のあるリニアメント	---
異常地形	明瞭な遷急線 (浸食や崩壊が発生していると判断できるもの)	~~~~~
	崖線・急崖	TTTTTT
	円弧状クラック(亀裂)	—
	崩壊地・崩壊跡地	⌒
	ガリ	↘
	地すべり地形・岩盤クレープ斜面	↘
	溝状凹地・二重山稜	—
堆積物	扇状地・沖積地・土石流錐・土石流段丘	⌒

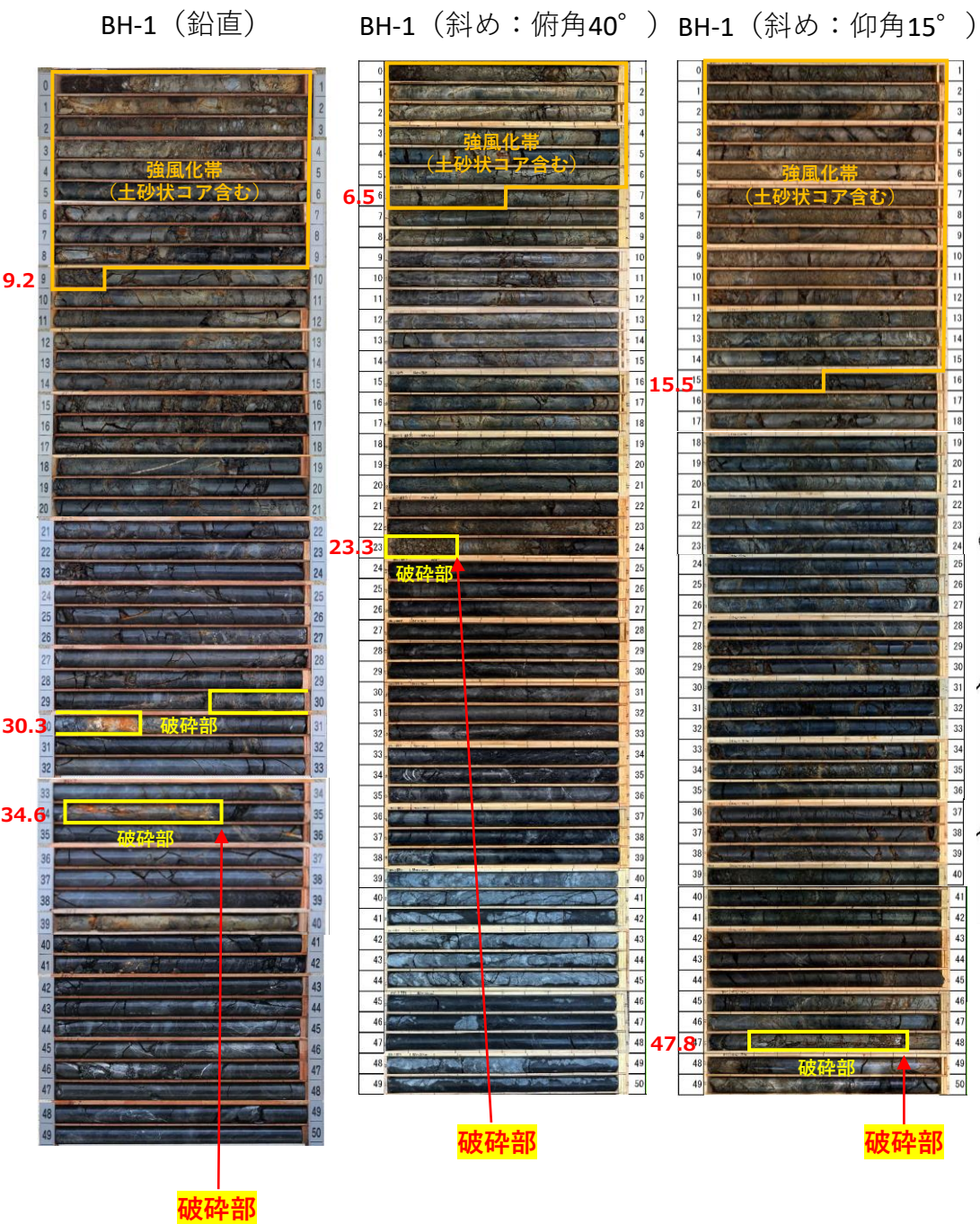
※微地形表現図と地形判読はR2年度奈良県成果

地質調査結果 (BH-1)

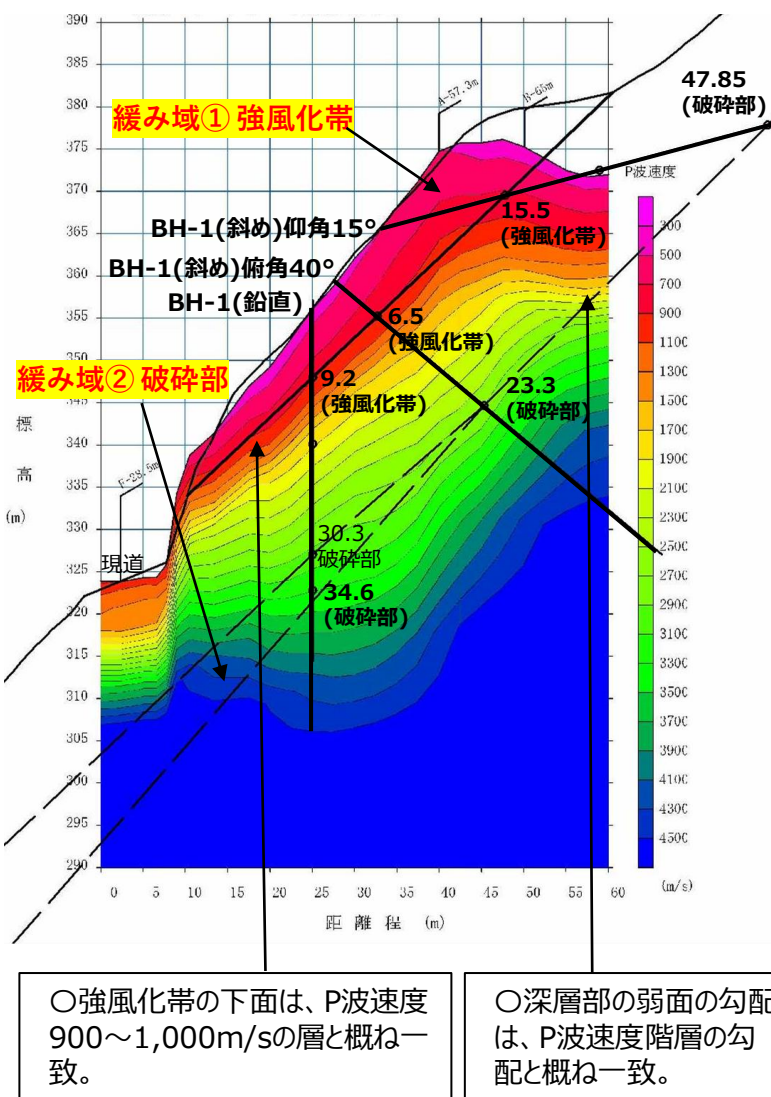
■ ボーリング調査・弾性波探査 (BH-1地点)

- 地表から深度9~15m付近まで著しい強風化帯が分布しているため、層厚15m程度の緩み域 (= 緩み域①) を確認。
- 深度30m付近において、破碎部の存在が判明したため、破碎部の深い側の位置で弱面を形成し、層厚30m程度の緩み域 (= 緩み域②) を確認。

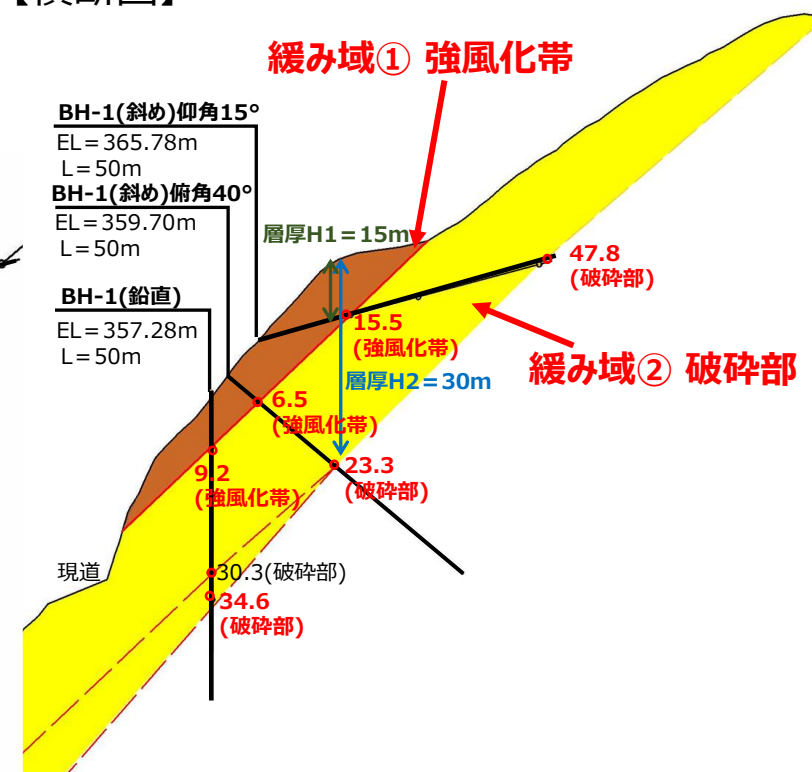
【ボーリング調査】



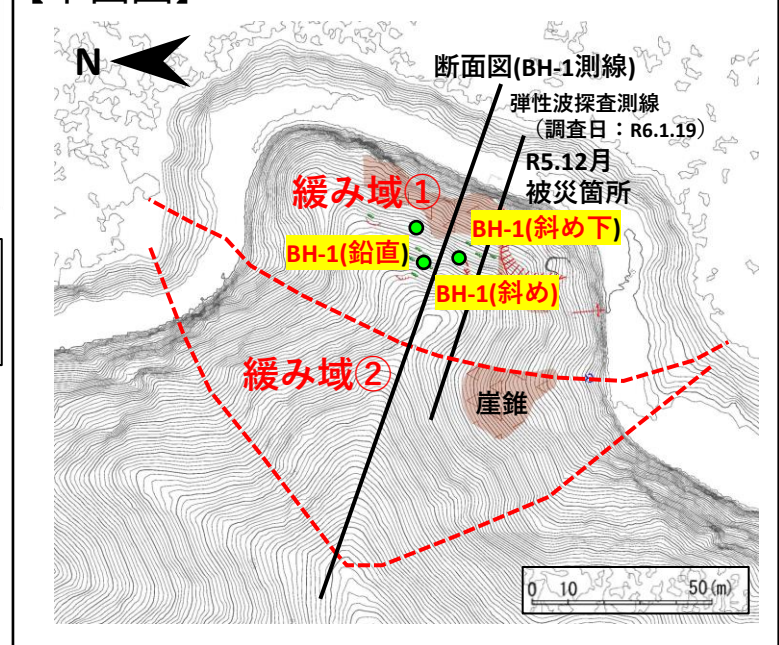
【弾性波探査】



【横断面図】



【平面図】

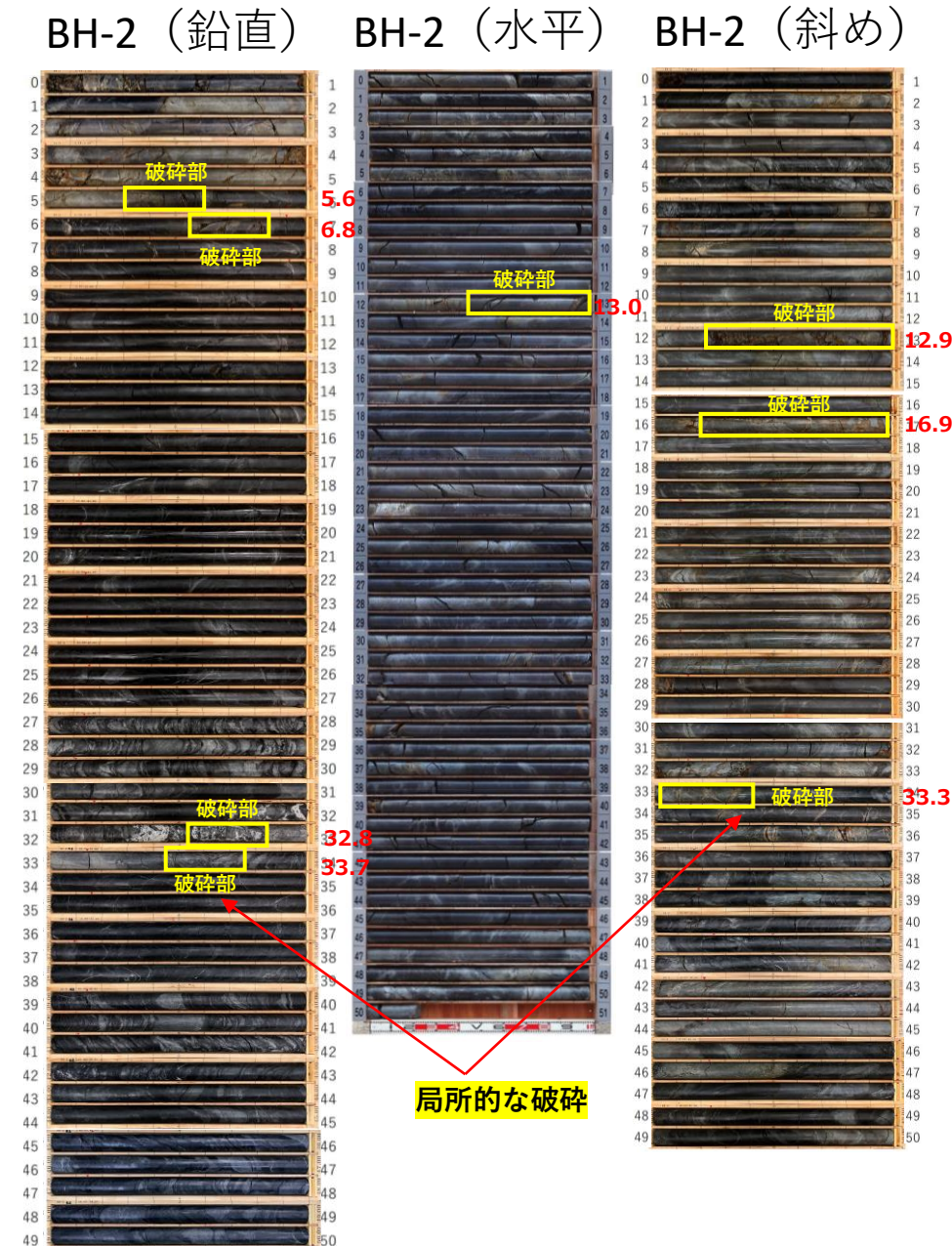


地質調査結果 (BH-2)

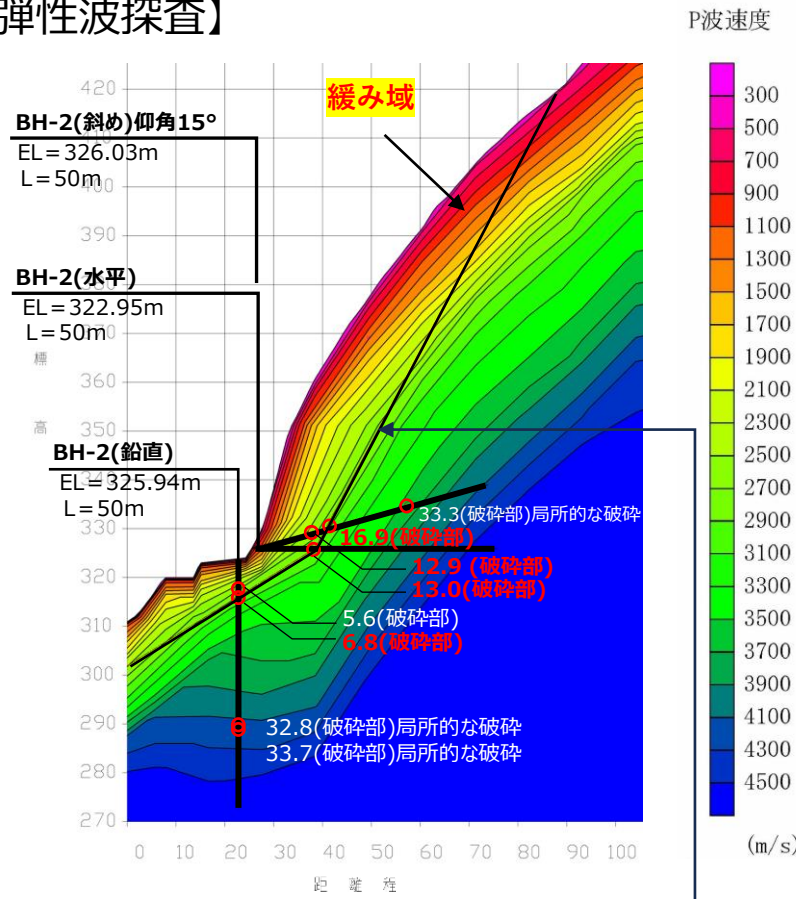
■ ボーリング調査・弾性波探査 (BH-2地点)

- **深度5~13m付近**において、**破碎部**の存在が判明したため、破碎部の深い側の位置で弱面を形成し、**層厚30m程度の緩み域**を確認。
 - なお、BH-2 (鉛直) 及びBH-2 (斜め) の**深度33m付近**において、**破碎部**の存在が判明したが、BH-2 (水平) では**同様の破碎部が確認出来なかった**。
- また、**弾性波探査においてもBH-2(鉛直)とBH-2(斜め)のP波速度が異なっていることから、破碎部の傾向が確認出来なかったため、層厚30m程度よりも深い位置の破碎部は局所的なものである。**

【ボーリング調査】

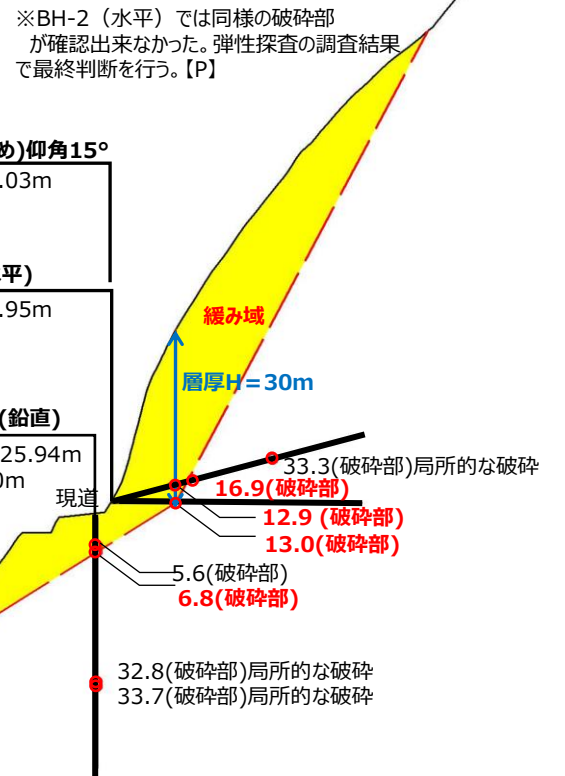


【弾性波探査】



○ 深層部の弱面の勾配は、P波速度階層の勾配と概ね一致。

【横断図】



【平面図】

